

## ◆故障かな?と思ったら...

### 症状: 本体が全く動かない

対応: 電源を確認してください。AC100~240VまたはDC19~32Vが必要です。  
通信ケーブル、設定ソフトにより緯度、経度および時刻を確認してください。  
無通電状態でセンサーのバランスが取れているか確認してください。アンバランスな状態では負荷側に回転し、本体は動きません。  
無通電時の保持トルクはSTR-21G/22Gで約5Nm、STR-32Gで約10Nmです。

### 症状: 高度方向に動かない

対応: 高度軸の動作範囲は $-20^{\circ}$  ~  $95^{\circ}$  となっています。取り付け台が $-20^{\circ}$  を越えて下を向いている場合、又は $95^{\circ}$  を越えて上を向いている場合はリミッタが働くため動きません。一旦電源コネクタを抜き、手で取り付け台を水平付近に戻してから電源コネクタを再接続してください。

### 症状: 本体が太陽の方向を向かない

対応: 製品付属の取扱説明書の「5-2. 設置の準備」「5-3. 設置」を参照しながら、正しく設置されているかを確認してください。  
STR-21G/22G: 設置ベースの水準器が付いた足を北に向けてください。  
STR-32G: 本体の方位軸フランジ側のマークを南に向けてください。  
\*南半球では、STR-21G/22G の場合は南、STR-32G の場合は北に向けてください。  
計算モードにおける太陽高度角が $87^{\circ}$  を超える場合、サンセンサーモードは適用されず計算モードのみで動作します。この場合の太陽追尾精度は、設置誤差(方位誤差と水平誤差)、緯度経度の入力誤差および時計の誤差の分だけ低下するため、それぞれの誤差が蓄積された場合には正しく太陽の方向を向かないことがあります。

### 症状: サンセンサーが正しく太陽の方向を向かない(サンセンサーの照準が時間と共にずれてしまう)

対応: 本製品がサンセンサーモードのときは、太陽の計算位置とサンセンサーによる太陽追尾位置の差をリアルタイムに学習しており、日射強度が低下して計算モードに切り替わったときは学習値により計算位置を補正して追尾を行います。したがって、十分な日射強度があるときにサンセンサーを手で覆うなどして遮光した場合でも、センサー(直達日射計など)の照準は太陽方向からずれることはありません。  
設置直後には、学習機能が正しく動作するために必要なデータが蓄積されていません。  
サンセンサーが太陽を検出するとサンセンサーモードに移行し、データが徐々に蓄積されますので、モード移行後、数分で学習機能が正しくはたらくようになります。  
サンセンサーを遮光した際に太陽追尾方向が大きく移動する場合には、何らかの異常があると考えられます。  
安定して動作している状態にもかかわらずセンサーの照準が合わない場合は、何らかの機械的原因によりずれが発生している可能性があります。取り付け台の微調節ねじによりセンサーの照準(ピンホール)を再調整し、再度状況をご確認ください。  
製品付属の取扱説明書の「5-3. 設置」に従い、サンセンサー用ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

### 症状: 異音がする

対応: 取り付け台の微調節ねじがロックナットで正しくロックされていないと、モーターの振動で異音が発生する場合があります。センサーの照準を合わせたあとしっかりとロックしてください。

### 症状: GPSセンサーが緯度経度および時刻を受信しない

対応: 設置場所によってはGPSセンサーがうまく動作しないことがあります。  
周囲にGPS 電波受信の障害となる大きな建物や樹木がないことを確認してください。  
本体上部に電波を遮断するもの(金属部品など)がある場合はそれらを取り除いてください。

### 症状: サントラッカーとPC間で通信できない

対応: COMポート設定および、RS232CシリアルケーブルでPCとサントラッカー間がきちんと接続されているかを確認してください。